



ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド 2019-07(為替ヘッジあり・限定追加型)

愛称：**しあわせインカム** 追加型投信/海外/債券 **特化型**

マザーファンドの運用状況とデンマーク・カバード債券の特徴

当ファンドは2019年7月31日に設定・運用を開始しました。

デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドの運用状況について (2019年6月末時点)

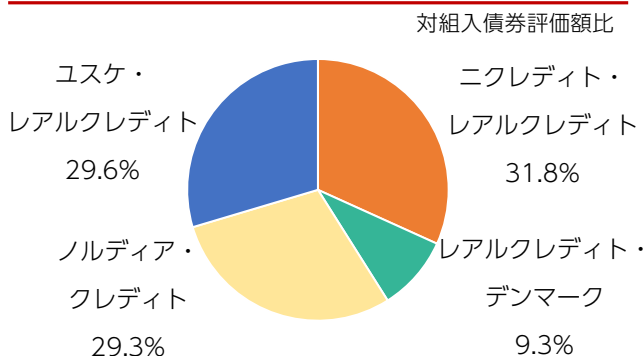
当ファンドは「ファミリーファンド方式」で運用を行います。以下は「ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド」の状況を示しています。

下記の数値等は市場環境によって変動します。将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

ポートフォリオ情報

平均格付※1	AAA
期限前償還考慮後デュレーション※2	3.86年
平均最終利回り(①)※3	1.83%
為替ヘッジコスト(②)※4	-0.41%
為替ヘッジコスト控除後平均最終利回り(①-②)	2.24%

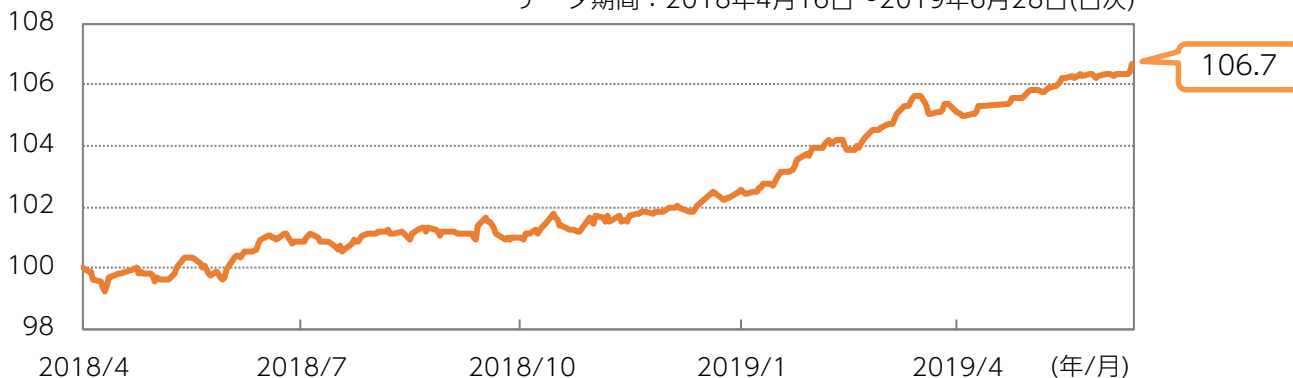
発行体別構成比率



- ※1 格付は、ムーディーズ、S&Pのうち、上位の格付を採用しております。また平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。
- ※2 「期限前償還考慮後デュレーション」=デュレーションとは債券投資におけるリスク度合いを表す指標の一つで、金利変動に対する債券価格の反応の大きさ(リスクの大きさ)を表し、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。期限前償還考慮後デュレーションとは、期限前償還によるオプション価値を考慮した後のデュレーションを表しています。ノルディア・クレジットが算出した各銘柄の値をニッセイアセットマネジメントが加重平均しています。
- ※3 「最終利回り」=満期までの保有を前提とすると、債券の購入日から償還日までに入ってくる受取利息や償還差損益(額面と購入価額の差)等の合計額が投資元本に対して1年当りどれくらいになるかを表す指標です。
- ※4 為替ヘッジコストは、1ヵ月物フォワードレート等を用いて計算した想定値(年率換算)であり、実際のファンドの為替ヘッジコストとは異なります。マイナスの場合にはヘッジプレミアムとなります。ブルームバーグのデータをもとに、ニッセイアセットマネジメントが作成しています。

<ご参考>マザーファンドのパフォーマンス

データ期間：2018年4月16日～2019年6月28日(日次)



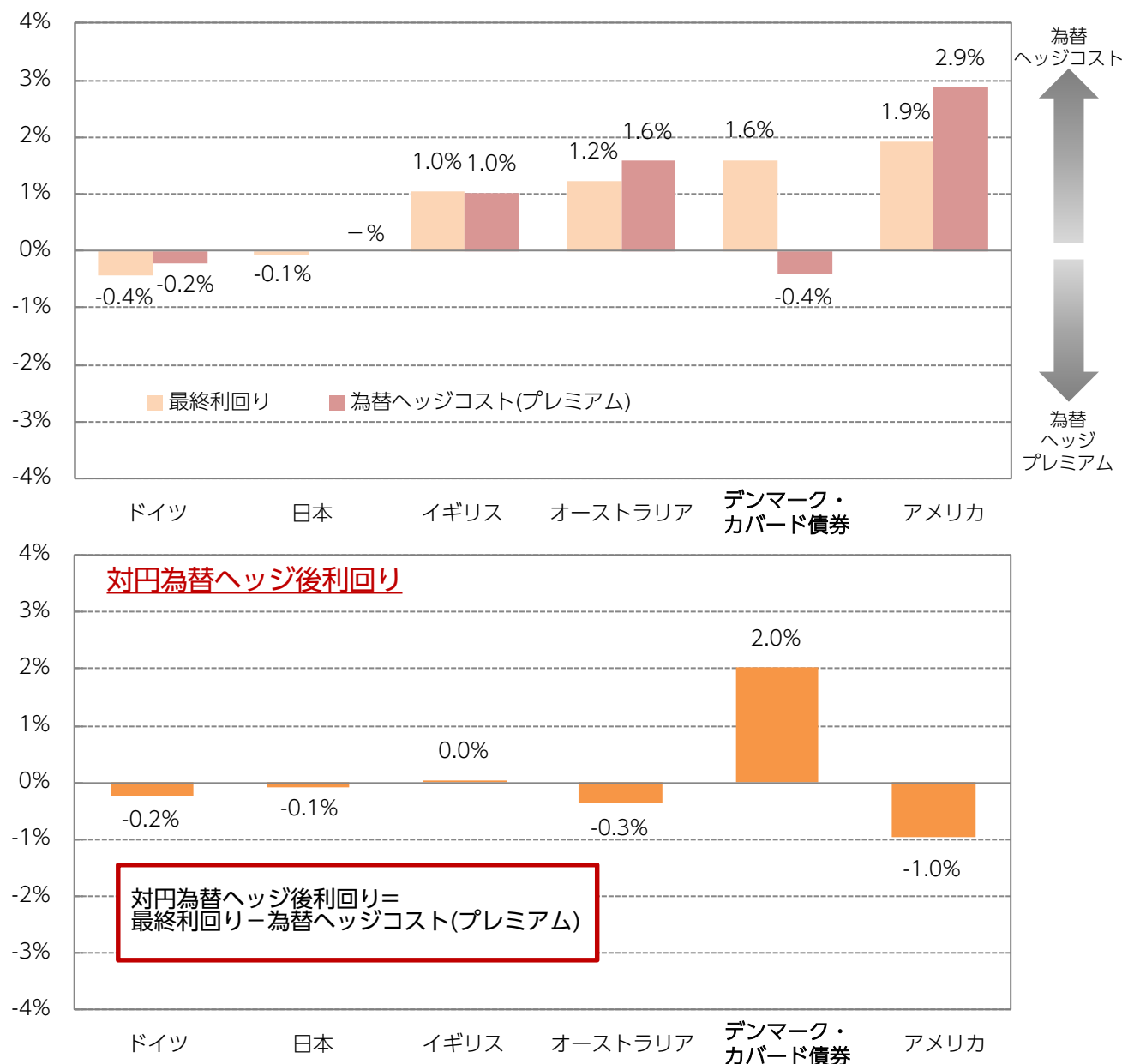
上記はマザーファンドの運用実績(信託報酬等コスト控除前)であり、当ファンドの運用実績ではありませんので、あくまでご参考としてお考えください。当ファンドと同じマザーファンドに投資するニッセイアセットマネジメント設定の追加型公募投信の設定日2018年4月16日を100として指数化しています。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

デンマーク・カバード債券の特徴 ① 為替ヘッジ後の魅力的な利回り

日本の投資家にとって、外国債券への投資には為替変動リスクが伴います。為替変動リスクは為替ヘッジを行うことで低減できますが、為替ヘッジを行う場合、円の短期金利が為替ヘッジを行う当該外貨の短期金利より低い時などには、ヘッジコストが発生するのが一般的です。為替ヘッジコストがかかる場合には、為替ヘッジ後利回りが大幅に低下することもあります。

デンマーク・カバード債券は、デンマーク・クローネが現在ヘッジプレミアムを得られる状況となっていることもあり、対円為替ヘッジ後利回りが相対的に高くなっています。

<デンマーク・カバード債券と各国国債の対円為替ヘッジ後利回り (2019年6月末時点)>



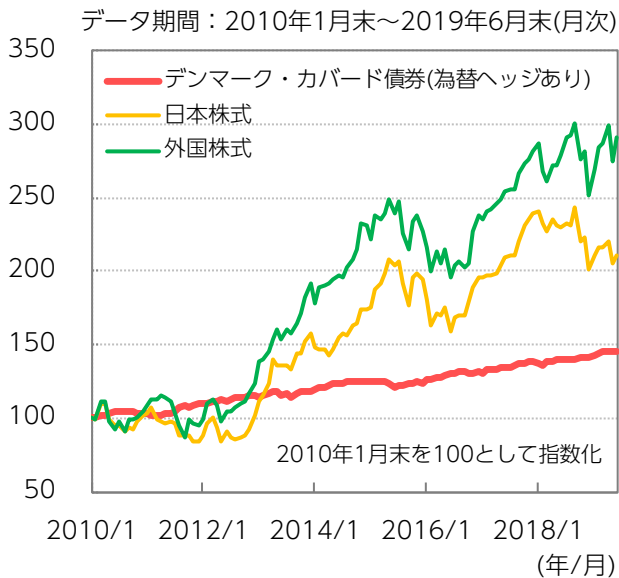
出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 各国国債：ブルームバーグ・パークレイズ各国国債インデックス。デンマーク・カバード債券：ニクレディットDMBインデックス(当ファンドの状況をお示しするものではありません)。為替ヘッジコスト(プレミアム)は、1ヵ月物フォワードレート等を用いて計算した想定値(年率換算)であり、実際の為替ヘッジコスト(プレミアム)とは異なります。

デンマーク・カバード債券の特徴 ② 安定的で良好なパフォーマンス

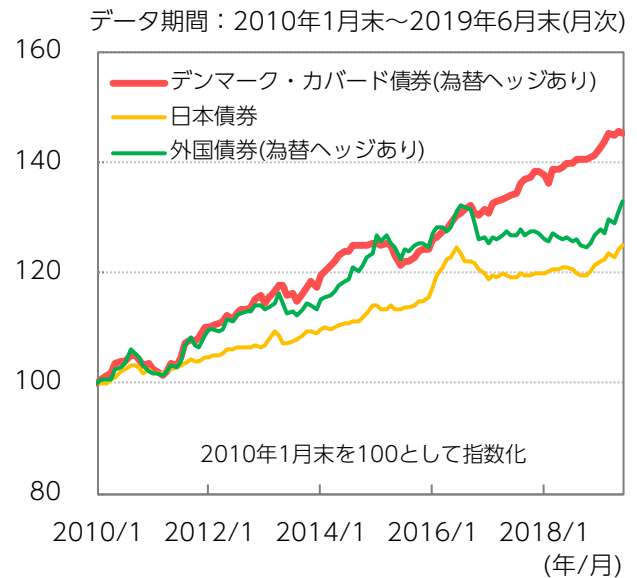
2010年以降のデンマーク・カバード債券指数(為替ヘッジあり)のパフォーマンスをみると、内外株式指数と比較して、相対的に値動きが安定していることがわかります。

また、デンマーク・カバード債券指数(為替ヘッジあり)は日本債券および外国債券(為替ヘッジあり)を上回るパフォーマンスを示してきました。

株式指数とのパフォーマンス比較(円ベース)



債券指数とのパフォーマンス比較(円ベース)



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)：ニクレディットDMBインデックス、日本株式：TOPIX(配当込み)、外国株式：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)、日本国債：FTSE日本国債インデックス、外国債券(為替ヘッジあり)：FTSE世界国債インデックス(除く日本)
 上記は各種指数の過去の実績を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。

<ご参考> 世界経済の見通し

2018年秋以降、米中貿易摩擦の激化などの影響もあり、世界経済の先行きに慎重な見方が増えてきています。IMF(国際通貨基金)による世界経済見通しは下方修正が続いており、2018年10月から12月にかけては世界の株式市場が下落する局面もみられました。

今後も景気の先行きに不透明感が高まる局面では、投資家は債券投資による下落リスクの抑制と安定的なインカムの積上げを重視する可能性があります。

<IMF世界経済見通し 2019年成長率予想の推移>

	2018年7月 時点	2018年10月 時点	2019年1月 時点	2019年4月 時点	2019年7月 時点
世界	3.9%	3.7%	3.5%	3.3%	3.2%
先進国	2.2%	2.1%	2.0%	1.8%	1.9%
新興国	5.1%	4.7%	4.5%	4.4%	4.1%

出所)IMFのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

デンマーク・カバード債券の特徴 ③ 長期投資でリターンが安定化

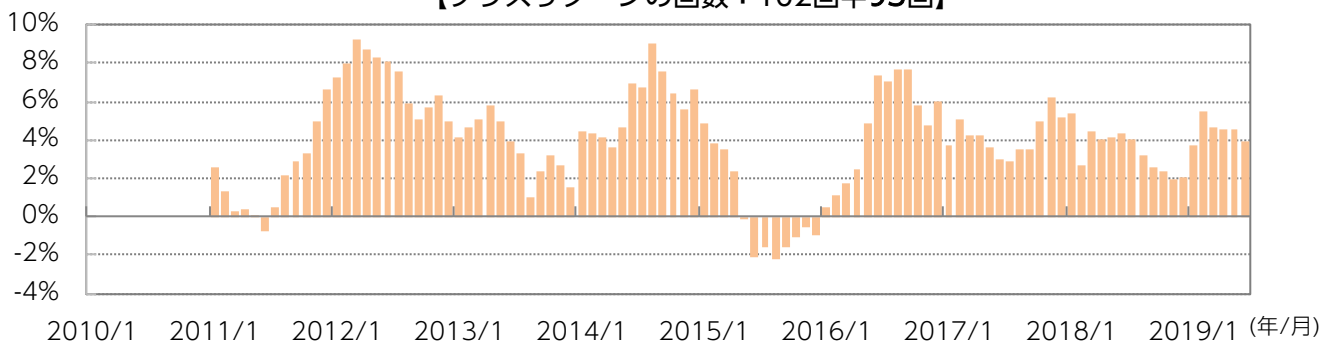
デンマーク・カバード債券指数(為替ヘッジあり)のパフォーマンスは、他の資産と同様に相場環境によって変動しますが、長い期間投資を続けることで、短期的な相場の動向に左右されにくくなる傾向があります。

2010年以降の月次データをもとに投資期間別のリターンをみると、投資期間1年の場合は102回中9回がマイナスとなりましたが、投資期間3年ではすべてのケースでプラスとなりました。また、投資期間5年の場合は、投資時期の違いによるリターンのバラつきがさらに小さくなっています。

デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり) 投資期間別のリターン(円ベース・年率)

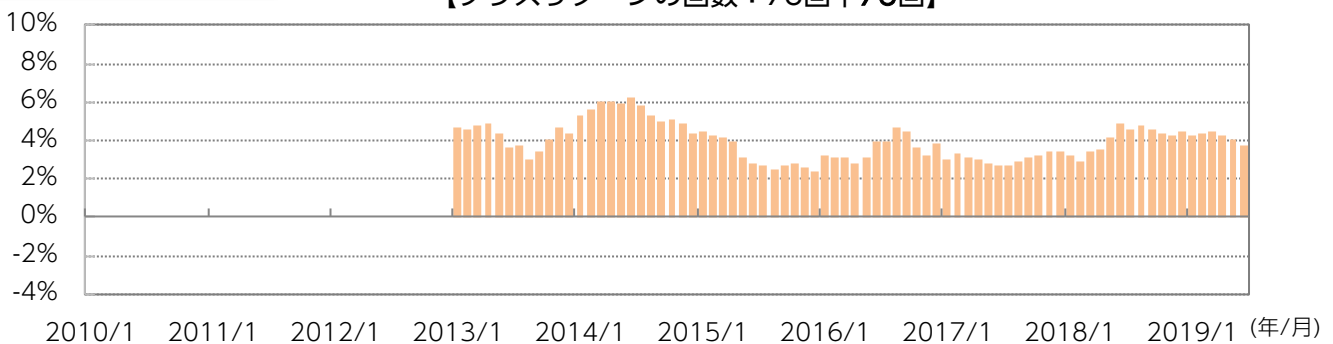
投資期間1年

【プラスリターンの回数：102回中93回】



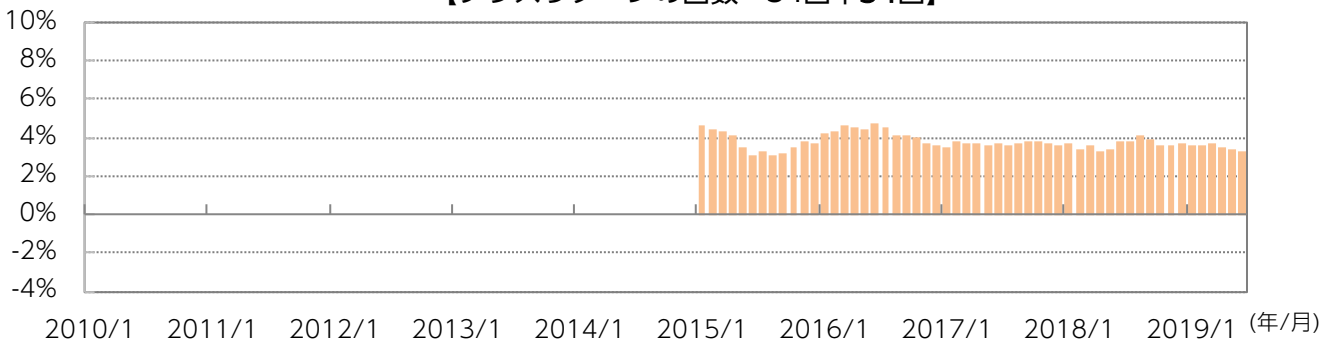
投資期間3年

【プラスリターンの回数：78回中78回】



投資期間5年

【プラスリターンの回数：54回中54回】



出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

データ期間：2010年1月末～2019年6月末(月次)

デンマーク・カバード債券(為替ヘッジあり)：ニクレディットDMBインデックス

各月末時点において投資期間が1年の場合、3年の場合、5年の場合の年率リターンを表しています。将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。購入時手数料、運用管理費用等は考慮していません。

上記は指数の過去の実績を示したものであり、当ファンドの運用実績ではありません。

ファンドの特色

① 主にデンマーク・カバード債券に投資します。

ファンドが主要投資対象とするデンマーク・カバード債券には、一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度が10%を超える、またはを超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、ファンドは特定の銘柄に投資が集中することがあります。ファンドの特化型運用においては、当該銘柄のエクスポージャーがファンドの純資産総額の35%を超えないよう運用を行います。当該銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

② 外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。

③ 当ファンドの購入の申込みは、2019年8月30日までの間に限定して受け付けます。

④ 年2回決算を行い、分配金をお支払いすることをめざします。

・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

債券投資 リスク	金利変動 リスク	金利は、景気や経済の状況等の影響を受け変動し、それにともない債券価格も変動します。一般に金利が上昇した場合には、債券の価格が下落します。
	信用 リスク	債券の発行体が財政難・経営不振、資金繰り悪化等に陥り、債券の利息や償還金をあらかじめ定められた条件で支払うことができなくなる場合(債務不履行)、またはそれが予想される場合、債券の価格が下落することがあります。
	期限前償還 リスク	カバード債券は、様々な要因によるローンの借換え等にともない、期限前償還されることがあり、これらの増減により価格が変動します。特に金利が低下した場合、期限前償還の可能性の高まりにより、カバード債券の種類によっては価格の上昇が抑えられること、または下落することがあります。
為替変動リスク	外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替ヘッジを完全に行うことができないとは限らないため、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が為替ヘッジを行う当該外貨の金利より低い場合などには、ヘッジコストが発生することがあります。	
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。	
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。	

ご留意いただきたい事項

- 投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動し、運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のものとなります。投資元本および利回りが保証された商品ではありません。
- 当資料はニッセイアセットマネジメントが作成したものです。ご購入に際しては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は保険契約や金融機関の預金ではなく、保険契約者保護機構、預金保険の対象とはなりません。証券会社以外の金融機関で購入された投資信託は、投資者保護基金の支払対象にはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売却益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料 (1万口当り)	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に 2.16%(税抜2.0%) を上限として販売会社が独自に定める率をかけた額とします。 ●料率は変更となる場合があります。詳しくは販売会社にお問合せください
換金時	信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に 年率0.8964%*(税抜0.83%) をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。 ※消費税率が10%になった場合は、 年率0.913% となります。
	監査費用	ファンドの純資産総額に 年率0.0108%*(税抜0.01%) をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。 ※消費税率が10%になった場合は、 年率0.011% となります。
随時	その他の費用・ 手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等はファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

- ! 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。
! 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

取扱販売会社一覧

※販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によっては、新規のお申込みを停止している場合もあります。
詳しくは、販売会社または委託会社の照会先までお問合せください。

取扱販売会社名	登録金融機関		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
	金融商品 取引業者	登録金融 機関					
株式会社岩手銀行		○	東北財務局長(登金)第3号	○			
株式会社第三銀行		○	東海財務局長(登金)第16号	○			
株式会社三重銀行		○	東海財務局長(登金)第11号	○			

<当資料において使用している指数についての説明>

- MSCI各種指数は、MSCI Inc. が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- FTSE各種債券指数は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

委託会社【ファンドの運用の指図を行います】	ファンドに関するお問合せ先
ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者登録番号 関東財務局長(金商)第369号 加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会	ニッセイアセットマネジメント株式会社 コールセンター：0120-762-506 (午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます) ホームページ： https://www.nam.co.jp/
受託会社【ファンドの財産の保管および管理を行います】	
三菱UFJ信託銀行株式会社	